



元気っ子がいっぱい  
スポーツクラブ・教室便り

### 《松尾少年野球教室》

伊野 昇

松尾少年野球教室は、松尾小学校二年生から六年生まで四十二名で、六年目の高橋監督のもと毎週土曜日曜校庭で練習を行っています。

本年度は六年生三名しかないので、目標を公式戦一勝を掲

### 《少年空手クラブ》

松ぼつくりの体育館で、金曜日の夜と日曜日の午前中に、基本と型を中心に練習を行っています。

今年は5人の新しいお友達も加わり25名となりました。

牧内指導員の話聞いたところ「明るく元気よく」をモットーに力一杯活動していますとの事でしたが、空手ばかりではなく、あいさつや礼儀の指導もしっかりしてくれていました。

げスタートしましたが、早くも五勝、先日は緑大会を優勝することができました。

練習場所は小学校校庭ですが、グラウンド確保もままならず、練習を休みにする事が悩みの一つです。

目標を達成した今、目標を優勝二回に上げがんばりますので、御声援をお願いします。

# 松尾育成会便り

平成18年度  
第15号  
松尾青少年健全育成会  
広報部

## 水中生物をつかまえたよ!

子育て学習推進事業 松尾の川の水中生物をつかまえたよ!

「水中生物をつかまえたよ」が開催された六月十日の朝、それぞれの道具を持った子供達が続々と集まって来ました。ざつとその数七・八十人います。

飼育箱をもらい、上手な魚のつかまえ方を教えていただき、いざ出発です。目的の川に着き、

四月十六日(日)には、百名近い子どもたちの参加を得て、「松尾少年スポーツクラブ等結団式」を行いました。

また、六月十日(土)には、「松尾の川の水中生物をつかま



子供にゲートボールを教える熊谷会長

また、六月十日(土)には、「松尾の川の水中生物をつかま

### 十八年度育成会では

松尾青少年健全育成会

会長 熊谷英彦

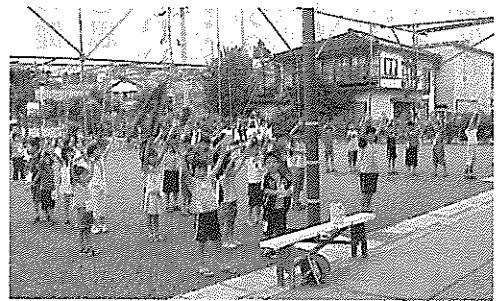
た。また、近くの田や思井川では、ホウネンエビや梅花藻に出会うことができ、公民館へ帰って実物顕微鏡で観察もしました。

### 上溝区から

楽しみにして

いた夏休みに入ると、子供達の一日はラジオ体操から始まります。眠い目を擦りながら上溝集会所に集まって、六時二十分からラジオの声に合わせて体操を行います。体操が進むにつれ、身

## 地区便り



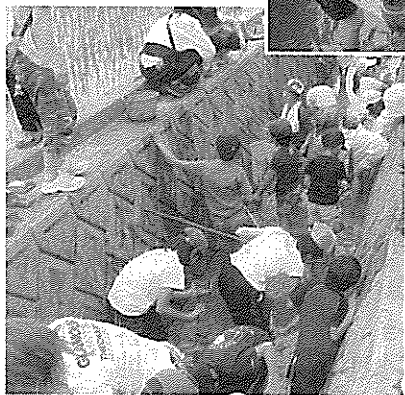
も心も目を覚まし、帰路につく頃には子供達の元気な声が聞こえます。

暑い夏の日々を決まり良く過ごす為に、欠かす事のできない朝の行事です。(中島 功)

### 初めてのいきものとり

松下そなた

ぼくはこのせいぶつとりにはじめてきました。どんなせいぶつがいたのか、つかまえたのか、つかまえたかたのしみでした。友だちが一回



きたことがあるそうできてみました。ついたりときは一回きたことのあるぼしよでした。ぼくはザリガニをとくにとりたくてさがしてました。いっぱいさがしてもぜんぜんいなかったの上へあがつてぼんやりしてたらあかつぽいせながみえたので下へおりてみたらザリガニ二だつたのでうれしかったです。それでもたまたさがしたらはさみがみえたのでとつてみたらザリガニでした。

二ひきつかまえられてうれしかったです。

参加した七十余名の子どもたちは、それぞれに得がたい体験をしたのではないかと思います。七月十五日(土)には、松尾小学校の校庭で、土曜日活動「ゲートボールで遊ぼう」を行いました。二十五名の子どもたちは、梅雨の晴れ間の暑さの中、夢中で取り組んでいました。

場への参加、あいさつ運動と声かけ運動の推進、松ぼつくりの池の管理、広報十五号・十六号の発行、高齢者とのゲートボール交流等予定しております。こうした育成会の活動が、松尾の子どもたちの健やかな育ちに少しでも役立てばと思っております。今までの活動へのご指導、ご協力に感謝するとともに、今後ともご支援のほどよろしくお願い申し上げます。

### お知らせ

#### 今後の育成会事業

・行事部、土曜日活動部

・9月30日/ゲートボールで遊ぼう

・子育て学習推進事業

・10月/ニュースポーツを楽しもう

・2月/松尾地区文化祭における「ふれあい子供広場」

**飯田市 ファミリーサポートセンター**  
ファミリーサポートセンターとは  
育児・介護の「援助を受けたい方」と「援助を行いたい方」との相互援助活動を行う、ボランティアの会員組織です。互いに支えたり、支えられたいしながら、できることから始めてみませんか。

育児のサポートがほしいとき……  
●保護者の買い物や美容院等、外出の場合の預かり  
●子どもが軽度の病気の時の預かり  
●生後3ヶ月～12才までの子どもが対象です。

料金  
月～土  
7:00～20:00  
1時間あたり600円  
上記以外700円

飯田市ファミリーサポートセンター(飯田市社会福祉協議会内)  
〒395-0024 飯田市東栄町3108-1 さんとしあ2F  
☎0265-53-3181 FAX0265-53-3183  
Eメール:shakyou@ildanet.or.jp

申し込み  
問合せ

# 「ごんごんはあいらつすねば顔見知り

## 気持ちのよい挨拶と

### 返事ができる子に

～大人が進んで範を示そう～

松尾小学校校長 伊藤雅之  
先日めつたに行かないが、病院に出かけた。待合室で待っている時、若い看護師さんが名前を呼んでいる。「Aさん、Aさん」しかし、反応がない。再び「Aさん、Aさん」と呼びながら、困ったように辺りを見回している。あれ、いないのかな、と思っていると、後ろの方から若い男性が歩いてきた。「Aさんですか」と尋ねるとやっと思さく頷いた。その後も返事をした人は一人もいなかった。小学生も二人いたようだが。  
やがて、私の名前が呼ばれたので「はい」と聞こえる程度の返事をして立ち上がった。何人かの視線を感じながら。看護師

さんがニコッと笑顔で「どうぞ」と返してくれ、ほっとした。呼ばれたら返事をする。ごく当たり前のことだが、当たり前にするには勇気のいることだ。病院だけでなく支所でも郵便局でも銀行でも同様の光景を目にするところがある。挨拶

## 挨拶の力

だけでなく「挨拶と返事」をセットにして広めていくことが大事ではないか。そのために、大人が子どもに、家庭でも地域でも範を示していこうではありませんか。学校でも返事のない場合は、返事をするまで繰り返し名前を呼ぶことにしている。  
平成18年度の教養部の活動について紹介させていただきます。

### 育成会教養部から

福島 衛

今年度の重点目標である「①心身ともにたくましく健やかで人情豊かな青少年の育成」「②良い環境づくりと健康で明るい家庭づくりの推進」を達成する為に、教養部としての活動方針を次のように決定しました。

「挨拶運動を通じて地域の方々のコミュニケーションを図り、子供たちが安心して暮らせる地域・社会を構築しよう」です。  
元氣な挨拶は、挨拶する側もされる側もとても気持ちよく感じると共に心が豊かになります。そして何よりも大切なことは会話が生まれることだと思います。最近では、小さな子供さんが犠牲となる事件や事故が多く、安心して遊ぶことが難しい環境になつてきていることをとても残念に思っています。このような社会環境を改善していく為にも、挨拶運動をひとつのコミュニケーション

ーションとして家庭や隣近所、そして地域が一体となって活動していくことが大切だと考えます。朝は「おはよう」から始まり、「いただきます」「行ってきます」・外から帰ってきたときは、「ただいま」そして「おやすみなさい」。挨拶をすることでお互いの気持ちや感情を知ることにも出来ると思います。各地区の集会所やコミュニケーションセンターに掲げた挨拶標語を参考にしてください。各地域の親御さんが率先して挨拶を行い、子供さんたちとコミュニケーションを図っていただきたいと思

います。また、今年度も引き続き小学生を対象とした「挨拶の標語」を募集し、優秀な作品を皆さんに知っていただけるような広報活動も行っていきますので、多くの皆様のご協力をお願いいたします。

## 地域の地育力

小学校PTA会長 康野伸英

はじめまして、本年度松尾小学校PTA会長の職を仰せつかりました、康野です。

今、子どもたちを取り巻く環境は大きく変化しております。国では教育基本法の改正が検討され、県では高校改革が進められています。一方、子どもたちが犠牲となる事件や今まで予想

## 有害環境浄化

### 巡回活動について

松尾少年補導員 多田五十志

私達松尾少年補導員は、毎年七月に有害環境浄化巡回活動を行っています。

これは、地域の商店、コンビニ、書店等を巡回し、青少年にとって有害な図書、ビデオ、パ

## 地域の力

もしていなかったような問題が多発しております。飯田下伊那でも、多くの声かけ事案が報告されており、インターネットや携帯電話という新しい環境も加わり、私たちの周りにも痛みし

い事件となる危険があることを認識しなければなりません。既にも多くの学校や地域で、子どもたちを守る取り組みが始められておりますが、継続性のあるものがあります。ソコンソフト等が売られていないか、又は配慮された販売方法がとられていないかをチェックするものであります。

効果的な取り組みであることが求められています。このような中で、最終の目的は「子どもたちの健全な成長」であることに変わりはありません。それには地域の皆様の協力を得てこそ可能となります。地域の地育力がこそ、子どもたちの健全な育成につながると思えます。よろしくお願いいたします。

私達の活動は地道で目立たないものですが、地域の若者の役に立つてくれる事を願い、活動を続けていきます。



ゲートボールであそぼう

＝高齢者との交流事業＝  
七月十五日、育成会は「土曜日活動部」(行事部)合同で「高齢者との交流事業」として、ゲートボール連盟

松尾支部の皆さんと小、中学生がゲートボールを楽しみました。当日は小、中学生二十五名が参加、ゲートボール連盟の方々の指導をいただき、まずはスティックの握り方、1m先のゲート通過、2m、3mと進み、いざコートへ、第一ゲートの通過に挑戦、あれ！練習の時の様にうまく打てない、弱かったり、強過ぎたり、悪戦苦闘！それでも何とか第二、第三ゲートを通過、最後のボールに当てて「上がり！」

梅雨の合間の強い陽ざしの中、高齢者の方々と楽しい交流の出来た半日でした。

# あいらつすねば人間ごんごんの宝物